



令和7年度 童浦小学校グランドデザイン

《学校教育目標》「人間性豊かな童浦の子」

《校訓》強く 正しく どこまでも

《目ざす子どもの姿》

- 強くたくましい子 ……自分に自信をもち、挑戦できる子
- 明るく思いやりのある子 ……人間関係が良好で、他人も尊重できる子
- 深く考え 自ら学ぶ子 ……困難な状況でも前向きに取り組める子

《本年度のスローガン(学校経営方針)》

WA(和・話・輪)で広がる 童浦の笑顔

3つのWA(和・話・輪)を意識した教育活動を行い、
すべての子どもの自己肯定感を高め、笑顔が広がる学校を目ざす。

「和」を重視した日常生活

具体的な取組

- 子どもの成長を認める姿勢
- 温かい言葉がけ、時には愛ある厳しさも
- 失敗をおそれず挑戦できる雰囲気作り
- 相互に認められる場の設定
- 安全で過ごしやすい教育環境整備
- 不審者対応などの避難訓練

「話」の場を設けた学習活動

具体的な取組

- 個別の目標の設定
- 成長を実感するふり返りの場の設定
- 成功体験を積み重ねる授業
- 自己理解を深める道徳授業
- 多様な考え、新たな見方・考え方にふれる機会の設定
- 「表現する場」自己決定する場の設定

「輪」を意識した学校行事

具体的な取組

- がんばりを認める学校行事(運動会・どうほっと発表会・マラソン・ジョギング大会)
- 充実感や役立ち感、上級生に対する敬愛の念を育む異学年交流
- 地域の人と協力して実施するイベントやプロジェクト(学習田での米づくり・茶園活動・だでのんまつり)

《本年度の重点努力目標》

- (1) 安心・安全な教育環境の中で、教師は子どもの成長を認める温かな言葉がけを意識し、結果ではなくプロセスを重視した指導を行い、子どもの自己肯定感を高める。
- (2) 授業では、子どもの話を傾聴する姿勢をもつとともに、「話す場」「表現する場」「自己決定の場」を意識的に設け、子どもの自己表現の場を与える。
- (3) 行事や異学年交流を通して、子ども同士が認め合い、充実感や役立ち感、敬愛の念をもてるような機会とする。
- (4) 教職員の心身の健康に留意するとともに、経験豊かな教員と若手教員との、年齢や世代を超えた交流を充実させ、授業力や資質の向上に努める。

《家庭の協力》

- ・学校と一緒に取り組む
- ・学校行事、学習活動への参加
- ・家庭学習の推進
- ・親子読書
- ・自己肯定感を高める家庭教育

《地域との連携》

- ・地域と連携した学校行事(だでのんまつり)
- ・充実した地域行事(夏まつり、スポーツ大会、市民館祭り)
- ・授業補助<CS・どうほっとサポーター>(茶摘み、米作り、野菜作り、まち探検ほか)